

IRIS CLUB Information for our members

KŌEKISHA アイリスクラブ事務局



0120-333-838

〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地 株式会社公益社

<http://www.shiga-koekisha.co.jp>

PICKUP CONTENTS ●1P ニッポン再発見／淡海の老舗 ●2P トピックス…ウィークリー終活セミナー／人形法要祭／楽楽講座／社内交通安全研修会 ●3P 秋…お彼岸／敬老の日／提携店のご案内 ●4P フラワーガーデンアイリス／愛読者プレゼント／エコ活動／アイリス広場



RE
DISCOVER
NIPPON

お墓は必要なのか ～人がお墓に求めるもの～ ④

広がるお墓の種類とその背景 II

前回からお墓の様々な形を紹介してきたが、最後は、永代供養墓について記す。

●永代供養墓……どの種類の墓地でも承継者がいない場合、建墓そのものが否定されることがある。そのようななかで、霊園側が承継者に代わり、責任をもって永続的に供養するという考え方が生まれた。合祀・合葬式と個別墓式の2つに分かれる。合祀・合葬式はお墓をほかの人と一緒に納め、個別墓式は従来のお墓よりも少し小さなお墓の中のカロート（遺骨を納める納骨所）に納骨する。

お墓の様々な形を紹介してきたように、多種多様な形のお墓が存在するが、家の墓という考え方はしだいに弱まっている。家のお墓などあまり考えず、自分にとって1番近い家族で

ある親のお墓をつくり、あるいは自分たちの夫婦のお墓を前もってつくっておき、あとの承継は子供たちに任せる、そういった考え方がしだいに強くなってきているということだ。

家の跡取りである人、三世同居世帯、また古い慣習の残る農山村地域では、自分自身も将来は先祖の墓や何々家の墓に入りたいという人が多い。しかし、反対に家制度の名残から放たれた人や、核家族世帯、また都市化した大都市周辺の新住宅地域では、自分自身は先祖の墓に入りたいと考える人は少ない。自分の死後、先祖として崇拝してもらい、墓を維持してもらうことを期待するのは子供に負担感をもたらすと思ひ、子供の生活や生き方を重視、大切にすることを考えている。



▶井伊家菩提寺 豪徳寺 (東京都世田谷区)

家族の意識は先祖に向かうのではなく子孫に向かい、過去に向かうのではなく、未来に向かっているのである。

時代の流れとともに人々のお墓への価値観は先祖代々で守るものという1つの概念だけでお墓を捉えるのではなく、現代人の必要とするニーズに合わせ、お墓への価値観と形は変化しながら、今に在るのだ。

田中稔さん 2014年立命館守山高等学校卒業論文
『お墓は必要なのか～人がお墓に求めるもの～』より



協力 日東商事株式会社
彦根市田附町1307・tel.0749-43-2802

使うことが無くなれば技術は伝承されることはない。日本人の心として、稲藁床はいつまでも受け継がれてほしいものである。

稲藁床が用いられることがある。しかし、最近では生活スタイルが変化し稲藁床の畳の需要は激減している。ただ、神社・寺院などの伝統的な調度具として使われる有職畳(ゆうそくたみ)には、現在でも稲藁床が用いられることがある。

しかし、最近では生活スタイルが変化し稲藁床の畳の需要は激減している。ただ、神社・寺院などの伝統的な調度具として使われる有職畳(ゆうそくたみ)には、現在でも稲藁床が用いられることがある。

稲藁床だけを用いた畳床は、藁を40センチもの厚みに重ね、6センチ以下に圧縮して作られる。耐久性、弾力性、吸放湿性、断熱・保温性に優れ、夏は涼しく冬は暖かい。畳は日本家屋に欠かせない存在だった。

日東商事株式会社(旧(株)柴田)は、昭和30年代の創業。彦根市稲枝地区の豊かな稲作地帯から穫れる稲藁を用いて畳の芯材となる「畳床」を生産したのがはじまりだ。

畳が一般家庭に普及したのは江戸時代後期から明治にかけてのことだ。そして、平成元年に需要のピークを迎える。しかしその頃には、ポリスチレンフォームなどの建材畳床が主流になっていた。

伝統

淡海の老舗

TOPIC
1

ウィークリー 終活セミナー 開催しました。

平成28年6月4日(土) 多賀公益会館

「家族葬のメリット・デメリット」

講師:冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏



平成28年6月11日(土) 近江八幡公益会館

「税理士から見るエンディングノートの
書き方と活用方法」

講師:税理士 田井尊之氏



平成28年6月18日(土) フィリアホール彦根
「はじめての喪主セミナー」

講師:冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏



恒例となりました終活セミナー。「日程が合わず参加できないのが残念です」というお客様の声にお応えし、毎週開催させていただくことにいたしました。

お一人で参加くださる方、ご夫婦で足を運んでくださる方など、皆さん熱心にメモを取りながら、真剣に耳を傾けておられるのが印象的でした。講演後も気軽にご質問くださったり、「解りやすく、楽しく聞くことができました」などの感想もいただきました。これからも定期開催していく予定です。(葬祭部:山本学)

ウィークリー終活セミナー「現代の葬儀事情」

講師:冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏

10/30(日) 八日市公益会館

11/ 6(日) 多賀公益会館

11/13(日) フィリアホール彦根

11/20(日) メモリアルプラザ公益会館

11/27(日) 近江八幡公益会館

— 開催時間 各日とも 10:00 ~ 11:30 —

*詳しくはホームページ、アイリスクラブ事務局
(☎0120-333-838)でご確認ください。

会員様
先行案内

TOPIC
2

八日市葬祭フェア

人形法要祭 開催いたしました。

平成28年6月26日(日) 八日市公益会館



▶たくさんの方にお参りくださいました。

▶観葉植物もたくさん♪

▶かわいらしくできました♪

梅雨の晴れ間の1日、人形法要祭では、皆さまからお持ちいただいた思い出のある大切なお人形やぬいぐるみ、約5,000体を曹洞宗妙厳寺のご住職によるご読経のもと、人形とのいろいろな思い出と共に、役目を終えた人形に感謝を込めて、丁寧にお供養させていただきました。参列いただいた方が順番にお焼香される姿は、人形への想いがいっぱい詰まっているのだなあとあたたかい気持ちになりました。

また、法要祭前後には、フラワーアレンジメント教室の開催、プロのカメラマンによる生前写真

撮影、屋外では、恒例のお花の即売会、食品ブースのおからドーナツ、ぶっかけそばとざる豆腐、この時期だけの新茶つかみ取りなど盛りだくさんの催しで大好評!

たくさんの方にお越しいただき、スタッフも皆さまとのつながりを感じることができた1日となりました。

なお、当日お供えいただきましたご芳志は、当社が支援しております東日本大震災孤児支援団体に全額寄付させていただきますことご報告申し上げます。(葬祭部:堀内勇人)

TOPIC
3

「おいしい日本茶の淹れ方教室」 開催しました。



茶茶講座

6月4日(土) 多賀公益会館 / 6月11日(土) 近江八幡公益会館 /
6月18日(土) フィリアホール彦根 / 6月26日(日) 八日市公益会館



日本茶の淹れ方の基本からおいしく淹れるタイミングなどを丁寧に教わりました。

茶葉それぞれの特徴を十分に味わい、お茶の保存方法、ペットボトルとの違い等のお話や茶葉の効能なども教えていただき、ちょっと

得した気分になった講座。

おいしいお菓子とそれぞれのお茶を味わいながら、普段の素朴な疑問なども気軽に質問できたりと各講座とも笑いの絶えないひと時でした。(カスタマーサービス部:杉本真由美)

TOPIC
4

社内交通安全研修会

定期的実施している社内研修。今回は運転実技研修会を実施しました。

当社営業本部敷地内に特設コースをつくり、3トン車での運転技術をテスト形式で確認しました。

交通安全意識のより一層の高揚を図り、交通安全の重要性を改めて認識できた研修となりました。(運輸部:中山良輝)



▶コーンを倒さないように...

お彼岸

彼岸開帳の地獄絵図

お彼岸になると思いだすのは、幼いころ田舎で見た「覗きカラクリ(紙芝居)」の「地獄絵図」です。地獄の起源は古代インドの最古の聖典の神話にでてきます。人類最初の死者・ヤマ・即ち閻魔にさかのぼります。ヤマは死の道を発見し「死者の楽園を支配した」と言われています。その後、因果・業の理論が普及すると、ヤマは死者を支配する王となり死者の業の質を見極めて、地獄に落とすとか極楽に行くか、死後の運命を判定するようになりました。

“地獄に墮ちる”の言葉にあるように、地獄は大地の下にあるとされ、ここでは恐ろしい責め苦を受けるとされています。地獄は悪行の程度によって数々あります。八大地獄があり無間に墮ちます(苦しみを受けることが絶え間がない)、極熱・炎熱(暑さによる責め苦)、大叫・号叫地獄(熱さによる責め苦による叫ぶ声からの名)阿鼻地獄もこれに由来します。黒縄地獄(真っ赤に焼けた鉄の黒縄で縛られて責められます)、等活地獄(責められて死んでもすぐ生き返って再び責められます)、衆合地獄(多くの苦しみが集合しています)、その他に八寒地獄やさらには大地獄に付随する地獄が多種あります。平安時代の僧、源信は地獄絵巻「往生要集」を著し、地獄について詳しく述べています。

前述の紙芝居を見ながら、お坊さんから「嘘をつくこんな恐ろしい鬼に舌を抜かれ、血の池に放り込まれるぞ」「食べ物を粗末にすると、こういう餓鬼道に落ちて、何を食べても火になってしまう」と教えられたのです。純粋な子供たちは「もう嘘はつけへん」「なんでも粗末にしない」と真剣の思ったものです。

地獄・極楽などの死後の世界が時代を超えて語り継がれているのは、人間存在の根底にひそむ悪、煩惱を凝視した深い反省によるものとされます。



▶真如寺 地獄絵図一部(多賀町)

極楽浄土の世界

「極楽」は阿弥陀仏が説法されているところです。別名、安養、安楽国、無量寿仏土、無量光明土、無量清浄土などと言われています。この世の煩惱に惑わされる苦の世界とすれば、極楽は求めてやまない清らかな楽園と考えられました。

阿弥陀経には『これより西方、十万億の仏の世界を過ぎたところに極楽がある。そこに阿弥陀仏がおり、いま説法をされている。なぜ極楽というのか、その理由は、その衆生は苦がなくて楽だけを受けるからである。国土の様子は街路樹は宝石ででき、しかも七重に連なっている。七宝の池があって、その水には八つの特性があり池の底には、金の砂、四方の階段には金・銀・青玉・水晶が敷かれている。車輪ほどの蓮華が青・黄・赤・白と輝き、微妙な芳香がただよう岸边には桜蘭が七宝で飾られてそびえている。天上から音楽が聞こえる。金の地面にはマンダラ華が昼夜六時に雨のように降る。衆生は毎朝、衣や華をもって他方世界の十万億の仏を供養する。食事時間に帰り、食後は修行に努める。さまざまな鳥がいて昼夜六時にみやびやかに鳴いて仏道修行の意味を悟らせる。また、風の音は仏・法・僧の三宝を心に念じさせる』以上が極楽の様子です。特に池・水・木陰・鳥などに注目すれば、極楽のモデルは砂漠のオアシスではないかと言われています。(猫田文吾)

敬老の日

敬老の日は、1965年に「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」と法律で定められた休日です。高齢者の福祉について関心を深め、高齢者の生活向上に努めるよう若い世代に促すという気持ちが込められています。私たちが育て、見守ってくださった大切な方々へ、「おめでとう」「ありがとう」の気持ちを伝え、長寿をお祝いしましょう。お年寄り、「敬老の日にしてもらいたい事」として、「モノ」より「会話」を望んでいるという意識調査があります。特に日頃離れて暮らしている場合は、手書きの手紙や電話での会話で、あなたの思いやりの気持ちを伝えては如何でしょうか？ きっと、喜ばれると思います。

ところで、何歳から敬老の日の対象者になるのでしょうか？ 国連の世界保健機関(WHO)の定義では、65歳以上の人を「高齢者」としていることから、一般的には65歳以上の方が対象者となるようです。「老人」と捉われることに抵抗がある方もたくさんおられると思います。そういう方々への感謝は、さりげなく!! 小旅行やスポーツに誘い、一緒に時間を過ごすのがいいかもしれません。(吉田良子)



アイリスクラス
提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

会員特典

建築相談無料
(1時間程度・要予約)



新築に限りません。改修・地震対策など、お客様のお悩みがひとつでも解決出来るようお手伝いさせていただきます。

竹中建築設計事務所
〒526-0059 長浜市元浜町31-16
tel.0749-64-0639

新規提携店

会員特典



住宅設備に関する
お見積り…無料

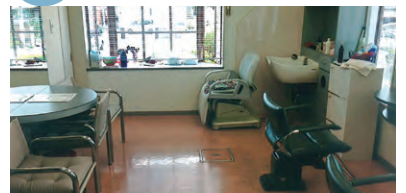
取付け、取替えが難しい住宅設備商品も簡単に工事依頼が可能です。「商品と工事でいくらかかるの?」というお客様も無料見積りさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。皆さまの快適な暮らしのお手伝いをさせていただきます。

テクノシミズー住宅設備機器ー
〒520-0052 彦根市長曾根南町485-3
tel.090-3491-5431

新規提携店

会員特典

新規のお客様 粗品進呈



ひとり、ひとりに似合うヘアスタイルを提案しております。是非、お越しください。お待ちしております。

ビューティサロン ピュア
〒522-0042 彦根市戸賀町100-15
tel.0749-23-8130

新規提携店

FLOWER GARDEN IRIS から

まだまだ暑い夏の空が広がる毎日ですが、この暑さもお彼岸まで、と言われてます。お彼岸といえばお墓参り。あの世とこの世が近くとされるお彼岸には、故人を偲び仏前にお花をお供えすることも。そこで今回はお供えの時のお花についてお話ししますね。たとえば菊。平安時代には薬やお酒、食用品など、様々な使い方ができ、菊は大変貴重なものとされていました。また花が長持ちし、枯れる時も花びらが散りにくいので、多くお供えされていたようです。もちろん、今は菊に限らず、お供えのお花も多様となっています。このお彼岸は、故人を想いながらぜひお花を選んでみてください。



- 菊 高貴・真実
- トルコキキョウ すがすがしい美しさ
- カーネーション(白) 私の愛は生きています
- テルフィニウム 清明
- ゆり(白) 純潔・威厳

Information

- 9/3(土) 多賀の花まつり「花ひろば市」
- 9/16(金)~9/19(月) 今年もやります!! IRIS「秋の花まつり」
- 10/31(月) ハロウィン 仮装でご来店のお客様 **5%OFF**
- 11/22(火) 良い夫婦の日 ご夫婦でご来店のお客様 **5%OFF**

	■ HIKONE 彦根市小泉町696番地 tel.0749-26-8783 fax.0749-26-4141	■ TAGA 犬上郡多賀町多賀1479番地 tel.0749-48-2333 fax.0749-48-2555
--	--	---

ご愛読者プレゼント

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて



「淡海の老舗」でご紹介
日東商事株式会社様

「滋賀羽二重」(もち米) 3kg
または「にこまる」(うるち米) 5kg
いずれも精米済み

応募締切
平成28年9月10日(土)必着

抽選で
10
名様に

- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。
- 当選された方にはプレゼントお渡し日をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

vol.58 「佃煮2種(えび豆・小鮎山椒煮)」ご当選者

彦根市: 北川文映様・川崎美智子様・辻 節子様・廣瀬美江様・若林政幸様
多賀町: 平塚英子様・西村正彦様 東近江市: 和田享子様・植村善明様・上田光男様

事務局より

たくさんのお便り、ありがとうございます。全てご紹介できないのが残念です。

今年も夏が過ぎ去ろうとしています。数ヶ月もすれば猛暑の季節もすっかり忘れ去られ、爽やかな季節から寒い冬に向かって身構えるようになります。季節が巡るなか、みなさまとのかわらぬつながりをたいせつにしていきたいと思います。

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社: 〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地
TEL.0749(22)5000 FAX.0749(22)0042

公益社のエコ活動

元気に活動中!

私たちは、街並みを美しく保つため、毎月の全体清掃活動を継続しています。1年を通して花を見ることができるよう、定期的に花の植え替えや花壇の手入れと同時に除草も行っています。今年6月に植え替えた日々草も元気に育ち、晩秋まで次々に花を咲かせ、人々の目を楽しませてくれることでしょうか。私たちの活動が社内の活性化と地域の皆さまとのコミュニケーションに役立っていると感じています。(総務部: 田崎秀子)



アイリス広場

Q & A

- Q** お通夜、お葬式で小さい子を連れていくのは控えた方が良いでしょうか?(東近江市: 男性)
- A** 小さなお子さま連れは何かと大変です。葬儀は突然の事、親御さんは連れて行くべきか悩まれることでしょう。関係が近ければ近いほど、「最期は子供や、孫、ひ孫も……」という気持ちで、小さな子を連れて葬儀に参列しなくては行けない状況になると思います。長時間の拘束に子供が耐えられないかもしれない、はしゃぐかもしれない。子供の行動は、親でも読みきれません。ただ、葬儀に連れて行ったことによって、場が和むこともあります。どちらが正しいということはありません。最終的にはご両親の判断になります。
- 子供を連れて行くときの注意点
- いくら言い聞かせたところでなかなか大人のようにはいかないので、親が責任をもってフォローすることが大事です。
- 騒いだら外に出る。●悲しみにくれている遺族が気を使わないように十分な配慮が必要です。
- Q** 前号 Vol.58 の表紙の花の名前は?(複数)
- A** シャガといえます。中国原産の多年草で、古くに日本に渡来してそれが野生化したといわれています。

みなさまのおたよりから

- アイリス広場のコーナーで皆さまの様子がうかがえていい感じです。これからも続けてください。(近江八幡市: 女性)
- 「梅雨」「暑中見舞い」はよく知っているつもりですが改めて納得!! 勉強になります。(東近江市: 女性)
- 春の花まつりによせていただき、珍しい花が色々取り寄せてあり大変楽しゅうございました。(彦根市: 男性)
- 知識を増やせることができ、生活に役立ちます。手軽に読めるのがとてもいいです。(彦根市: 男性)
- 葬儀のことだけでなく、季節に応じた内容なので何かと参考になります。(東近江市: 男性)
- たった4ページでも内容がぎっしりで絵もきれいで目でも楽しんでます。(近江八幡市: 女性)

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は
0120-61-4000

今月の虹の色は白群(びやくぐん)。柔らかな白味を帯びた青色のことです。岩絵の具に用いる青色の顔料である藍銅鉱(アズライト)という石を砕いて作られた粒子を、さらに細かく粉末に砕いてできる白っぽい淡青色のことをいいます。粒子の状態や色の濃淡から群青、紺青、白群と呼び名が変わります。